

Stand UP!

2015年7月28日

発行責任者 佐久間 晃史

NO. 1

編集責任者 情 宣 部

第29回定期全国委員会

貨物労組青年部は7月20日～21日にかけて東京・シーサイドホテル芝弥生にて『第29回定期全国委員会』を開催し、委員、傍聴、来賓、準備委員、中央常任委員の総勢110名が結集しました!

冒頭、佐久間青年部長はあいさつの中で、この1年間は苦しいことの連続だったことを振り返り①青年部組織②JR貨物会社の状況③平和問題④「たしろかおる応援プロジェクト」について話し、青年部らしく『仲間』を思いやり青年部組織を強固なものにして、JR貨物の構造的諸問題の解決の為にも残り1年となった「たしろかおる応援プロジェクト」の貫徹に向けて全員で頑張ろう。と力強くあいさつをしました。



また、今定期委員会には、たしろかおる参議院議員、JR総連青年協から福田議長、日倉労組青年部から米島青年部長、JR総連(美世志会)から山田国際部長、全国OB会から川端会長、契約・臨時社員連絡会から近藤代表、からあいさつを頂きました。中央本部・相澤執行委員長からは、貨物労組を取り巻く厳しい情勢の中で守るべきものをハッキリさせて、すべてのたたかいを「たしろかおる応援プロジェクト」に結集させよう。と話がされました。

質疑応答では27名の委員から発言があり、青年部組織強化の実践や課題、平和問題に対する取り組み、「たしろかおる応援プロジェクト」の悩みなど青年部員が直面している問題が鮮明となりました。また、新保全体制や北海道新幹線に伴う要員問題、名古屋車両所移転についての会社の対応、出向者に対する会社の対応など業務に関する発言も数多くありました。そして現在の組合の運営に対する発言もあり、改めて気を引き締め直した質疑応答となりました。発言に対して応答しきれない部分もありましたので今後改めて返していきます。

質疑応答のあと中央本部・税田書記長、日倉労組青年部・原副部長から感想を頂き、黒澤事務長の総括答弁のあと佐久間青年部長の団結ガンバロー!で委員会を終了しました。

今定期委員会で佐久間体制は2年目となりました。質疑応答での切実な声を受け止め、青年部員の悩みを解決するために本部青年部一丸となってより一層奮闘していきます!



青年部長	佐久間 晃史	29歳	東京貨物(夕)駅
副青年部長	八文字 隆二	31歳	隅田川機関区
副青年部長	後藤 修一	27歳	郡山車両所
事務長	黒澤 進也	30歳	東京貨物(夕)駅
会計監査	高橋 英嗣	24歳	新鶴見機関区
会計監査	勅使河原 禎	25歳	愛知機関区